

9. 実行委員会

- 9-1. 第1回目 /平成22年8月26日
- 9-2. 第2回目 /平成22年9月22日
- 9-3. 第3回目 /平成22年11月10日

9-1 第 1 回目

○日 時／平成 22 年 8 月 26 日（木）15：00～16：30

○場 所／山田緑地 森の家 （北九州市小倉北区山田町）

○出席者／

- ・委員／高田委員長、森本委員、中村委員、田中秋子委員、野村委員、
梅下委員代理（下元氏）、杉原委員、橋元委員、西野委員、弋委員、
大下委員代理（山本氏）、田中あや子委員、井上委員、
- ・オブザーバー／財団法人住友生命健康財団 常務理事 青山氏
- ・事務局／関（委員）、蒲原、鳴海、西田

○議事進行／高田委員長

○議事録者／西田

〈 議 事 〉

- 高田委員長 挨拶
- 委員自己紹介
- 第 5 回もりフォーラムの実行計画・概要について
- 募集計画について

高田委員長： 実行委員会がもっと早く開けたらと思っていました。開催まで時間が詰まっておりますが、昨年の意見を生かして、立派なもりフォーラムになるように今日の会議を集中して作っていきましょう。

井上委員： 住友生命健康財団の井上です。第 1 回より応援をさせて頂いております。北九州支社総務部長の水口は、支社にて会議のため欠席となっておりますけれども、従来同様、協力させていただきます。

青山常務理事： 住友生命健康財団常務理事の青山と申します。初参加になります。

橋元委員： 専門学校九州リハビリテーション大学校の橋元と申します。北九州市で介護予防事業の専門委員をさせて頂いております。資料の「九州栄養福祉大学リハビリテーション学部」を「九州リハビリテーション大学校」とご訂正をお願いします。

中村委員： 今年で 3 回目の参加となります。山田屋台を担当しております。

野村委員： 3 回目の参加となります。第 3 回認知症・北九州大会を「もりから街へ」のつながりと考えて頂ければと思います。こちらにも参加して頂ければ幸いです。

田中あや子委員： 北九州市社会福祉協議会の田中と申します。第 1 回目より関わらせてもらっています。ボランティアの呼びかけ、車いす貸出、権利擁護関係の相談窓口、サポーター養成講座を担当しています。

- 山本氏： 課長の犬下が公務にて欠席のため、代理を務めさせていただきます。
- 森本委員： もりの散歩、山田倶楽部を担当させて頂いております。
- 下元氏： 財団法人北九州市芸術文化振興財団、音楽事業課長の梅下が出張にて不在の為、代理の参加です。今回、初参加です。クラシック音楽を通じて何かお手伝いできればと思い参加させて頂いております。
- 田中秋子委員： 昨年から参加させて頂いております。もりフォーラム自体には利用者として1回目から参加しております。
- 西野委員： 八幡で病院をやっており、20年ほど前から認知症の予防に関わっております。もりフォーラムは以前からお手伝いさせて頂いております。安心して暮らせる地域づくりができればと思っており、何かお役に立てればと思います。
- 弐委員： ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で、持続可能な開発のための教育という意味です。ボランティアの参加呼び掛けを行い、お役に立てたらと思います。
- 杉原委員： 大学の教員をやっており、また、戸畑で高齢者の支援施設長をしております。もりフォーラムには初めて参加させていただきます。
- 関委員： 事務局の関と申します。今回も新しい方に加わって頂き、新しいもりフォーラムに参加される皆様にご案内できればと思います。
- 西田： 2回目の担当をさせていただきます。よろしく願い申し上げます。
- 蒲原： 里山を考える会の蒲原と申します。
- 鳴海： 里山を考える会の鳴海と申します。
- 西田： (A3の第5回もりフォーラム企画書の説明。) 昨年の課題として、「在宅の方の参加が少ない」、「認知症サポーターの活躍の場として呈示することができていない」、「シャトルバスの乗車場所が分かりづらい」、「駐車場が混雑した」、「昼食の数が少ない」ことが挙がりました。今回、新しい実行委員の方にもご参加頂いています。セクションを越えた広がりの中で、第5回もりフォーラムを開催したいと思っております。(イベント案について説明。) 毎年、毎日新聞にタブロイドを載せて頂いておりますが、今年度はもりフォーラムの報告として、10月30日(土)の配布を予定しています
- 高田委員長： 開催日はいつですか。
- 西田： 今年は10月9日(土) 10:00~16:00です。
- 高田委員長： この日程を踏まえて準備ができるかどうかきちんと認識しないといけないですね。今日の会議にグループホームの関係は来られていないが、日程の問い合わせなどはありますか。

- 田中秋子委員： いつ開催するか尋ねられています。本日、会議後に報告します。
- 野村委員： 昨年の課題に、「昼食が不足した」とあります。毎年、山田屋台に出ておられる「えん」さんが、今年は出られないという話を聞いています。代わりの手だてはありますか。
- 中村委員： 全体の数が少ないというご指摘を受けましたが、うちは作業所の数も多いので、呼びかければどうにかなるかと思えます。
- 野村委員： もりのセミナー第2部は、外に出て秋を感じるワークショップとあります。具体的にどのようなものを用意されるのですか。
- 西田： もりの散歩、山田倶楽部などありますので、今年はそれを更にパワーアップできたらと思います。
- 野村委員： もりのセミナー第1部は座学とありますが、これは今年も永田先生をお呼びするのですか。
- 西田： 東京センターから頂いている案として、見守りに関するセミナーの開催があります。
- 西野委員： 今年のテーマは「快」ということです。加齢によって五感が落ちていく、それにより快がなくなる。芸術文化振興財団の方がいらっしゃるので、音楽を使って等、五感を刺激することができ、このような場で「快」をテーマにできると非常に素晴らしいと思います。参加される組織でどこをどのように分担するか詰めていくと良いと思います。その為にはコーディネーターが必要です。サポーターの活躍の場がないとありますが、北九州では市長を含め、2万人がオレンジリングをしています。現場レベルで引っ張っていかないといけないと思います。もりのセミナーですが、建物の中では座学、外では歌を歌ってもいいと思います。
- 田中あや子委員： 認知症サポーターの活躍の場ということで、社協のHPや情報誌で掲載し、ボランティアの参加を呼びかけます。当日までにサポーター養成講座がありますので、そこでもご案内したいと思います。
- 山本氏： 当日のスケジュールを教えてください。サポーター養成講座は、市政だよりで広報したいと考えますが、開催時刻が分からないと誌面への掲載が難しいです。また、市長のスケジュールを13時から16時と幅広く仮押さえしています。実際にどの時間帯のどのイベントに来て頂き、挨拶をしてもらうのが良いでしょうか。開催日が迫っていますので、時間を決めて頂きたいと思えます。
- 西田： 認知症サポーター養成講座については、例年、午前10時半から11時半までの開催ですが、この時間帯で如何でしょうか。

- 山本氏： 前任から伺いましたが、昨年の参加実績は18名でした。その時の報告会で午前、午後2回できないか、1回しかできないのであれば、参加者が多い午後がいいのではないかという意見がありました。変更できるのであれば、午後の時間に回して頂ければと思います。
- 西田： 例年、午前に開催しているのですが、問題はないと思いますが、午後の開催については検討したいと思います。
- 山本氏： 10月1日の市政だよりに掲載したいと思います。校正と締切が迫っていますので、この場で時間だけでも決めて頂くことはできませんか。1回だけであれば、午後の方が集まると伺っていますので、午後で調整させて頂ければと思います。
- 西野委員： 事務局として、午後の時間に開催して参加者が同数となることもあると思いますが、それでも構わないですか。
- 山本氏： 構いません。午前中だけということであれば、それでも問題はありません。
- 関委員： 市長の件ですが、お昼に居らせてここで2時間～3時間してもらえれば、息抜きにも丁度良いのではないのでしょうか。
- 山本氏： 去年は青空まちづくり教室があったが、今年、そのような多くの方が集まるイベントがあればそれに合わせたいと思います。
- 関委員： うたごえフォーラムというのがあります。全員参加で行います。今まではそれぞれがイベントを持ち寄って随所で実施してもらっていたが、今回はどこか一か所でイベントを実施する時間をつくりたい。それで今回はもりでの大合唱を考えており、その時に市長がいらっしゃれば良いと思う。
- 山本氏： 市長のお役目として挨拶があると思います。それに加え、歌う曲がわかれば市長に事前に渡しておければ、おそらく市長も一緒に歌って頂けると思います。
- 野村委員： 去年は市長が来ても、認知症の方は違う所に居ました。認知症の方の集いなので、認知症の方の中に市長が入ると良いと思います。
- 山本氏： 市長のスケジュールですが、スケジュールがまだ固まっていないので、はっきりとしたことは言えません。遅れる可能性もありますが、13時30分頃こちらに来て頂けるよう依頼をしようと思います。
- 関委員： 例年、来館者のピークは13時です。13時から13時30分が、来場者が一番多いです。
- 山本氏： 当日、来場時間が遅れても対応して頂けますか。
- 関委員： 大丈夫です。

- 高田委員長： 本人と家族の集いは例年と同様ですか。本人の集いは、毎年、永田久美子さんが担当されていますが来られますか。
- 西田： はい。
- 高田委員長： 昨年は、家族の方が少なかったです。その前の年は20人くらい集まった。家族の方にも参加してもらい、家族の集いにも参加してもらいたいです。
- 西野委員： もりのセミナーは、家族の方や支える方に参加してもらおうと意味があります。
- 野村委員： 本人と家族の集いは、例年前もって人を集めているが、そういうことは今からですか。テーマもこれからですか。東京センターの永田さんからはまだ連絡ないですか。
- 関委員： 本人と家族の集いに関してははまだです。
- 森本委員： 外に出て秋を五感で感じる、もりの散歩はどうするのですか。
- 関委員： 西野委員からレクチャーを受け、YGNや森案内人の強化セミナーを開きたいと思います。
- 森本委員： 引率者が慣れてきて、「自分たちで周ります」と言う人が去年は多かったです。
- 関委員： セルフガイドで案内ができるといいと思います。慣れてきたと言っても、自然を楽しむところまでは至っていません。
- 森本委員： YGNでも何かしないといけないという意見はありました。今年度はその点を踏まえたプログラム作りをしなければならないですね。
- 高田委員長： ボランティアの体制は大丈夫ですか。
- 西田： 昨年、駐車場が混雑したり、指示の不足があったりしたので、それを改善したいと思います。
- 関委員： 橋元先生の所から、実習として学生に参加頂くのは難しいですか。
- 橋元委員： 後期が始まってすぐなので、4年生だけが対応可能です。実習としては難しく、ボランティアとしてなら可能かもしれないです。
- 野村委員： 北九大の地域創生学群があります。10月から実習に出ますし、土曜日なのでちょうど良いと思います。声をかけてみましょう。
- 高田委員長： 中学生で養成講座が終わった方はいないですか。
- 山本氏： まだです。来年の今頃になるかと思います。
- 森本委員： 去年の高校生のボランティアが最後まで良く手伝いをして頂きましたが。
- 田中あや子委員： 高校生は慶成高校の3年生です。本年度も問いかけはしますが、早急にしないと時間がないです。

野村委員： バルーンアートは今年もお願いしますか。

森本委員： 皆さん喜んでいましたね。

蒲原： お願いできますか。

野村委員： はい。詳細は、またご連絡します。

高田委員長： 当日の任務分担はどうですか。次回の会議の予定はありますか。

西田： 参加の申し込みについてご案内する時間をとりたいと思います。9月の中旬にもう一度会議をさせて頂ければと思います。

中村委員： 初めて2年くらいですが、ハンドベルを練習している障がい者のサークル活動があります。高齢者施設で演奏することを目的としているので、もりのコンサートでさせて頂ければと思います。

井上委員： 今年のシャトルバスはどうしますか。

西田： 昨年の実績は、小倉駅から会場まで往復5回。延べ60名の乗車がありました。片道1回にすると6名の乗車でした。

高田委員長： シャトルバスは是非お願いしたい。

関委員： 前はシャトルバスの告知が不十分でした。配車の時刻、場所を決めますので、周知をお願いします。告知について、タブロイドですが、例年事前に行ってきました。これまで4回開催しており認知されてきているので、今年は実施報告として発行します。報告書が一部の方にしか配布されていないので、タブロイドにて報告と代えさせて頂きたいと思います。10月30日に14万部発行です。

田中あや子委員： ボランティアの募集のご案内で、参加申し込みが9月10日になっている。延ばして頂かないと難しい。

関委員： 9月20日に変更します。

野村委員： ボランティアの項目に、食事の介助やトイレの介助などの項目があるが、出会った当日にこうしたことは難しいと思います。コミュニケーションと移動だけにしておいた方が良いでしょう。

西田： トイレ、食事に関しては項目を削除します。

橋元委員： ボランティアに昼食は出るという理解でいいですね。

西田： 毎年ボランティアには、食券を配布し昼食を食べてもらっています。今年も食券を配布したいと思います。

橋元委員： 無償ボランティアなので、交通費は出ないですね。

関委員： 出ないです。

橋元委員： 例えば、乗用車で相乗りして、駐車料金が300円かかりますよね。

関委員： その日は終日、駐車料金は無料にしています。

橋元委員： 事前説明会はしますか。

- 関委員： できれば行いたい。当日のマッチングまで試みたが、道半ばです。
- 中村委員： ボランティア保険などは入っていますか。
- 関委員： 入っています。
- 山本氏： 9月20日は厳しいので、遅れてもよろしいでしょうか。
- 関委員： はい。
- 橋元委員： 全体のことと質問があります。中止になるのはどういう時ですか。台風などで開催が中止になる時、ボランティアに連絡をするのはどの時点ですか。
- 関委員： 雨天は森の家にて決行です。連絡網を作り、担当の長に連絡がいくようにします。
- 橋元委員： 去年はこの時期から、新型インフルエンザなどで催しが中止になりました。このような判断は誰が行うのか。
- 西野委員： 基本的に今年、インフルエンザは一般的には心配ないと思います。最終的な判断は北九州医師会長で良いと思います。
- 田中あや子委員： ボランティアのご案内をする時には、フォーラムのチラシもボランティアに差し上げるという事で良いですか。
- 西田： はい。ボランティアの参加について説明します。ホッチキスでとめた資料です。参加締め切りを9月20日（月）に変更して改めてご案内します。参加申込書にご記入いただき、FAXして頂きます。
- 野村委員： 課題として、在宅の方の参加が少ないとあるが、どこを通じてお願いしますか。居宅介護支援事業所でしょうか。
- 関委員： 一番情報を持たれているのはどこでしょうか。
- 野村委員： 今日は欠席ですが、白木さんのところでしょうか。
- 西野委員： 各区に支援の会があるので、連絡すれば良いかもしれないです。
- 関委員： 在宅の方は、遠くから来るのはハードルが高いので、隣接したところから来てもらうと良いのではないのでしょうか。
- 橋元委員： 個人情報があるので、行政は難しいです。高田委員長と西野委員のネットワークで行うのが確実だと思います。
- 高田委員長： 小規模多機能事業所が新しく14箇所程できているので呼びかけをしないといけない。
- 中村委員： 老人会はいかがでしょうか、認知症ではないですが。
- 橋元委員： 高齢者支援課を通して、連絡することはできますか。
- 山本氏： 問題ないと思いますが、老人クラブは担当が違う為、担当に話してからとなります。
- 関委員： 在宅の方に来て頂きたいが、そこを繋ぐのが難しいです。

- 野村委員： 各市民センターに置くのはどうですか。
- 関委員： 市民センターの方がニーズを感じない場合、成り立ちません。
- 橋元委員： 居宅介護支援事業者に配ってから、直接というのが確実。FAXでも流せませう。9月6日までにチラシは完成しますか。9月6日（月）にウェル戸畑で勉強会があるので、200名に配ります。
- 高田委員長： 後半月しかないですね。チラシはいつまでにできますか。
- 関委員： 今日修正し、すぐに送ります。
- 西田： チラシ、参加の願いはすぐに修正し、お届けします。9月20日が締め切りです。次回実行委員会は、9月22日（水）15時から16時30分に開催します。
- 高田委員長： 日にちが少ないので、事務局との連絡を密にしていきたいと思います。

〈まとめ〉

第5回もりフォーラムの実施が10月9日（土）で決定した。また、前回（第4回もりフォーラム）の課題を共有した。各イベントの開催が決定し、具体的な実施内容は、次回実行委員会にて決定する。イベントのうち一部は、開催時刻まで決定した。シャトルバスなどの運営計画について検討した。本日から、参加とボランティアの参加の呼び掛けを行う。申し込み締め切りについては、9月20日に変更した。次回実行委員会は、9月22日（水）15：：00～16：00に決定した。



9-2 第 2 回目

○日 時／平成 22 年 9 月 22 日（水） 15：00～16：30

○場 所／山田緑地 森の家 （北九州市小倉北区山田町）

○出席者／

- ・委員／高田委員長、森本委員、中村委員代理（深野氏）、田中秋子委員、野村委員、梅下委員、杉原委員、西野委員、川村委員、弋委員、大下委員、三井委員代理（田村氏）、山本委員、井上委員、
- ・オブザーバー／グループホーム協議会北九州 B ブロック 黒木 氏
グループホーム協議会北九州 D ブロック 松岡 氏
北九州市保健福祉局地域支援部高齢者支援課 山本 氏
- ・事務局／蒲原、鳴海、仲西、西田

○議事進行／高田委員長

○議事録者／西田

〈 議 事 〉

- 参加者・ボランティア申込状況のご報告
- イベント内容について
- 当日運営体制について

高田委員長： 本日はもりフォーラムに多くの方が参加できるよう話したいと思えます。イベントの内容についてを確認します。特にうたごえフォーラムは一斉に森で歌を歌おうという初めての試みです。また、当日の運営体制を確認します。

西田： 参加者、ボランティア申し込み状況の報告です。参加申し込みは認知症者 353 名、関係者 215 名、合計 568 名。昨年状況は認知症者 336 名、関係者 309 名、合計 569 名でした。車椅子は 97 台借用を希望されています。70 名の寄り添いボランティアがおります。駐車台数は 79 台希望されています。

高田委員長： 車椅子の余裕はありますか。

西田： 現在 93 台お借りすることになっています。

高田委員長： ボランティアはどうなっていますか。

西田： 寄り添いボランティア 152 名、見守りボランティア 11 名、合計 163 名となっています。これに加え住友生命北九州支社から 30 名参加予定です。保健福祉局は 9 月 27 日に数が確定します。また、実行委員会とその関係者は現在、計上しておりません。昨年は、寄り添い 42 名、見守りが 110 名、合計 152 名でした。

- 高田委員長： ボランティアの数は去年よりも上回っています。もう一声掛ければ参加者、ボランティアは増えると思うが。感触としてはどうですか。
- 西田： ボランティアは、社会福祉協議会からお声掛け頂いています。参加者は、9月20日が申込締切なっていますが、現在も申込みを受付けています。
- 高田委員長： グループホームの参加者についてご意見がありましたらお願いします。ほたるの里の申込みはまだですか。
- 西田： まだ頂いておりません。
- 高田委員長： 去年参加されて今年参加されてところはどのくらいありますか。
- 西田： 約10事業者です。
- 高田委員長： ボランティアの数は昨年を大きく上回っています。車椅子の余裕もあります。
- 田中秋子委員： 20日前にFAXしたが、届いていないということで今日出しました。締め切り前にFAXしている同様の方がいなければ良いと思いますが。西野委員の奥様よりご連絡があり、参加者が少ないということで協議会の方から再度声掛けをしてもらっている。車椅子が93台と書いているが、去年は足りなくて大変だった。もう少しお借りすることはできないでしょうか。
- 西田： 現在、車椅子をお借りするところが、各市民センター、日本福祉供給協会、山田緑地です。
- 高田委員長： 他に借りられる場所がありましたら、ご意見お聞かせください。
- 田中秋子委員： グループホームに車椅子を持って来てもらうのはどうですか。
- 高田委員長： お願いできますか。
- 西野委員： 昨年、どれくらい足りなかったか分かりますか。
- 田中秋子委員： 去年は楽しかったこともあり、帰りが遅くなって午後からの参加者の分が足りなかった。かなり足りなかったように思います。
- 西野委員： かなり不足していたんですね。具体的に何台か分かれば。
- 黒木氏： 今年はなるべく持ってきてもらうようお願いするのはどうですか。
- 田中秋子委員： これ以上の準備は難しいですね。
- 西田： 去年の車いすの借用台数は91台です。
- 高田委員長： 認知症の方の参加は353名で去年よりも50名近く増えている。昨年と同じだと足りなくなります。もりの合唱は何時にしますか。
- 西田： (当日スケジュール、マップの説明。) みんなで大合唱は13時30分から、「もみじ」を合唱します。
- 高田委員長： マイクをつけないといけないですね。マイクの近くに集まらないと

- 高田委員長： いけないですか。
- 西田： イベントステージが実施場所になります。館内放送で山田緑地全体に同期が図れないか検討しているところです。
- 蒲原： 音を出すことが出来るのはもりの家が中心です。どこまでの範囲で音が鳴るかは、機械の問題があるのでもう少し検討させて下さい。
- 高田委員長： これはうまくいくとすごく良いと思います。何か手を打っておかないといけないことはありますか。
- 西田： スケジュールの中では、みんなで大合唱の時に他のイベントを一度止めて頂いて、会場内全体で歌を歌おうと考えています。
- 弐委員： 更に詳しく説明すると、イベント広場にできるだけ多くの人に集ってもらいます。当日は、朝からイベント広場に司会者を一人つけます。大合唱のときは、伴奏が、ピアノとドラムとベースとサクスの4つで、それに歌手が1名付きます。北九大の合唱部も参加して下さることになりました。最初、2回ほど練習した後、13時40分位から本番ができるようにします。現在、場内アナウンスで同期を図れないか検討しています。みなさんと一緒に大合唱できる形を考えています。他にも4、5曲唱歌を歌って余韻を楽しむのはどうかと考えています。事務局からありました通り、事前に練習してご参加頂くと盛り上がると思います。
- 川村委員： カラーのページの2番のハンドベル、9番の時間が違います。それとイベントの続きでうたごえフォーラムが続く形になるんですか。
- 西田： 失礼しました。うたごえフォーラム後にハンドベルを開催します。
- 井上委員： 昨年、飛び入りでフラダンスをしてもらったが、今年はどうですか。
- 西田： 今のところフラダンスは予定していません。
- 蒲原： 声を掛けた方がいいですか。どう思われますか。
- 井上委員： 1曲なら良いが、かなり長く、数曲20分あった。ちょっと長い。
- 黒木氏： うたごえフォーラムの際、椅子はイベント広場に準備をしますか。
- 弐委員： はい。
- 高田委員長： 昨年はイベントが重なった。今年は重ならないようにしないとイケないですね。
- 田中秋子委員： 今年は玉入れがないから大丈夫だと思います。
- 西田： 当日の運営体制についてです。当日のイベント担当表があります。それぞれに内容、担当、場所、時間を記載しています。(イベントについて資料の説明。) つづきまして当日の運営につきまして、運営マニュアルを作成しています。(マニュアルの説明。)

- 西田： 時間帯別に車いすが何台必要か記載しています。最大は11時30分から12時の82台です。次に寄り添いボランティアの希望人数です。時間帯別に書いています。最大は11時半から12時の59名です。ボランティアに関しては弁当を準備したいと考えています。会議終了後、弁当の数、駐車台数をお知らせ下さい。見守りのボランティアには山田屋台の金券を渡したいと思います。
- 西野委員： P6、7、11のハンドベル、もりのセミナーの時間が違います。
- 西田： 運営マニュアルのハンドベルの時間が間違っています。正しい時間は、14時30分から15時30分。また、もりのセミナーの正しい時間は12時から13時20分です。
- 高田委員長： シャトルバスが出るが、市民に知らせることが出来ていないので心配です。市民の参加をどうするかお伺いしたい。去年は1,100名参加されている。今まで土曜日は、どのくらいの方が来園されていますか。
- 蒲原： 山田緑地の来園者数ですか。
- 川村委員： 土曜日は500名から600名程度です。
- 高田委員長： シャトルバスの時間帯はチラシを作るようにしますか。
- 西田： イベントの実施時間とシャトルバスの時間はみなさんにご案内を差し上げるようにします。表面にイベント内容、裏面にシャトルバスの時刻表を掲載します。
- 高田委員長： 折り込みが良いのですが、シャトルバスに乗る市民にチラシがいかないといけませんね。
- 弐委員： 広報については、市政記者クラブ20数社プレスリリースします。会期前の週の木曜日にします。個別にはタブロイドチラシの折り込みを毎日新聞に入れているので、事前に告知できないか相談をしています。
- 井上委員： 住友生命の介護セミナーの担当者がよろしく言っていたとお伝え下さい。事前告知を是非してくださいとお伝え下さい。他の件ですが、駐車場を30名で実施する。総務部長の水口が9月27日付で転勤になります。後任がいますので従来通り行いたいと思います。車いすの問題ですが、去年も予約していない人から、目の前にあるなら貸して欲しいと言われました。今年も同じことが考えられる。事前に言っていない人は駄目ですと断ってよろしいですか。先程おっしゃられたようにグループホームで持ってきてもらえるようお願いできれば有り難いと思います。断るのも辛いです。

- 野村委員： グループホームは元気な方が多いですが、長時間歩くことはできない。各施設で調達してほしいというのは難しいかと思う。車いすがないからリストを出している。なので、確保はして頂きたいと思います。
- 井上委員： 事前に申し込まれている人の分は確保する必要がありますね。
- 野村委員： 各施設の車いすの利用リストが出ています。時間までにお返し下さいということで調整するのはどうですか。
- 高田委員長： 11時半から12時が82台で一番多い。13時半のうたごえフォーラムの時も多い。福祉機器関係のところは全部借りるようにしているのですね。具体的にはグループホームの方にご協力願うということはどのようにすれば良いでしょうか。
- 田中秋子委員： あるところは持ってきてもらう。ないところは仕方ない。今回は車いすが不足しているので、お持ちして頂けるところは、なるべくご協力くださいということでお願いするのはどうですか。
- 高田委員長： 1台でも2台でも借りられるようにしないといけませんね。
- 田中秋子委員： 車椅子2、3台を持ってくるには、手配しないと行けない。ここでお借りした方が、利用者さんが一人でも二人でも多く参加できるのではないかと思います。
- 野村委員： グループホームは生活の場であり、基本的に車いすはない。あっても1台。車いすを持って来てほしいというのは難しいと思います。基本的に車椅子はリストにあがっているところだけ確保して頂ければと思います。利用者を歩かせるわけにはいかない。
- 井上委員： 今、何台確保しているのか。
- 西田： 93台です。最大必要なのは11時半から12時の82台です。
- 高田委員長： これから申し込まれる方には、車椅子を持ってきてもらえないかお願いして持ってきてもらうようにしましょうか。どこか車椅子が空いているということがあればお知らせください。チラシにシャトルバスの時間表を乗せた表はいつ頃できますか。
- 西田： すぐに作ります。
- 高田委員長： それをみなさんにお渡ししてもらうのと、新聞の折込みは少し難しいですか。市民に知らせたいです。早くチラシを作って実行委員の人にお配りをして、市民に知らせていきたいと思います。
- 野村委員： 本人と家族の集いについてですが、どのようなテーマですか。
- 高田委員長： 本人の集いは永田先生が見えます。企画は東京センターがしている。早く皆様にお知らせしないと行けないですね。

- 野村委員： ご本人や家族に根回しなり、人数集めはしていますか。いきなり集まってといっても難しいと思いますが、根回しはされているのか。
- 高田委員長： それはどのようになっていますか。
- 西田： 調整中です。内容は確定的なものではありません。
- 野村委員： まだ決まってないということですね。テーマにあわせて、家族や本人を選ばないといけない。早めに企画をお知らせ頂かないと動員できないのではないかと思います。
- 高田委員長： 家族の交流と本人の交流があるので内容を各グループホームにFAXでも連絡する必要がある。企画の内容について調整をお願いします。イベントの告知チラシ、バスの運行表についてチラシの作成をお願いします。
- 野村委員： 9月20日までになっていましたが、今からの申し込みも良いですか。
- 田中秋子委員： 少しお尋ねしたいのですが。これは本人と家族は一緒にないといけないのですか。
- 野村委員： 企画が分からないので分からない。
家族は来てなくても参加したい利用者はいる。本人だけでも良いのではないか。
- 高田委員長： それは構わないと思う。
- 野村委員： 昨年のように本人は本人会議、家族は家族会議で分けるのですか。企画が分からないとどのように出席できるのかわからないのですが。センターの方に企画を聞かないとわからないですね。
- 西田： 調整し、決定次第お知らせします。
- 高田委員長： 早目にしっかり詰めていかないといけません。東京の方が決まっていなければ、準備もあるので、早くして下さいと言っても良いと思います。
- 野村委員： 過去4回を踏まえてされるということでいいですね。トイレの数とか例年の反省に基づいてされるということで良いですか。
- 西田： そうですね。トイレの場所に関しては、イベントマップに記載しています。
- 高田委員長： チラシの内容はこれで良いですか。今ならまだ訂正はできると思いますが。
- 田中秋子委員： もりフォーラムの当日のスケジュール、マップ、みんなで大合唱などのチラシは当日配りますか。
- 西田： 両方とも配ります。

高田委員長： 以上でいいですか。では、当日の役割も決まり、何をするかということも決まりました。日にちはもうありませんが、成功させるために色々とお知恵をお借りしたいと思います。今日、帰られてからお気づきの点などありましたら、事務局までお知らせください。よろしく願い申し上げます。今日はありがとうございました。

〈まとめ〉

運営体制、イベント内容について確認した。本人と家族の集いについては、東京センターと調整の上、再度お知らせする。

バスの運行表、イベント内容についてチラシを作成し告知する。

車いすは、今後参加するところには、持参をお願いし、不足しないように調整する。



9-3 第 3 回目

○日 時／平成 22 年 11 月 10 日（水）15：00～16：30

○場 所／山田緑地 森の家 （北九州市小倉北区山田町）

○出席者／

・委員／高田委員長、森本委員、田中秋子委員、野村委員、杉原委員、川村委員、弋委員、
大下委員代理（山本氏）、三井委員、田中あや子委員、井上委員、千葉委員

・事務局／蒲原、仲西、西田

○議事進行／高田委員長

○議事録者／西田

〈 議 事 〉 ●ふりかえり

高田委員長： 当日は、前日が雨、当日も少し雨が降りましたが、皆様のお力で多くのご参加がありました。八幡西区の特別養護老人ホームの方が、来年も行かせて下さいという声がありました。本日は色々ご意見を出して頂き、来年の催しに繋げていけたらと思います。

西田： （報告書の概要説明。）本日は、特に 2 章の開催実績、4 章のアンケート結果についてお話しできればと思います。（報告書の説明。）

高田委員長： ご意見があれば、全体を通じて自由にお話頂ければと思います。

杉原委員： 初めて参加しました。デイサービスの方が参加して、クラフトをつくってお土産で持って帰れて良かったです。山田緑地に来る機会がなかったが、今回来ることができて良かったです。昼から雨が降ったが、うちの施設は雨が降る前に来て帰れたこともあり好評でした。また参加したいと思います。

森本委員： もりの散歩とやまだ倶楽部を担当しました。時期が早かった為どんぐりのおもちやが作れなかったが、小枝をスライスした工作を喜んでもらえました。もりの散歩は人が足りず、行き届かなかったが、利用者は昔の記憶を蘇らせているようでした。YGNのメンバーでは、来年も勉強しようということで終わりました。

田中あや子委員： まず、報告書の訂正をお願いします。（訂正箇所説明。）私は、ボランティアのお願いや地域の方への参加の案内、車いすの手配、寄り添いボランティアの受付を担当しました。ボランティア募集について、養成講座を終了した方々にも情報誌やインターネットでお知らせをしたが、地域の行事などと重なりました。また、学校に案内をし、学校単位で若い学生が参加して下さいなのは良かったと思います。一個人で参加されたボランティアの方が手もちぶさただったとの声があったので、役割分担を明確にしたいと思います。受付はス

- 田中あや子委員： ムーズにできたと思います。
- 山本氏： もりのセミナーに参加し、セミナーが延びた為、コンサートに参加できず、後で話を聞くと好評でしたので惜しいことをしたと思います。市としては、リビング北九州に掲載ができました。また、当日、見守りボランティアとして参加させて頂きました。今後も協力していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。
- 川村委員： アンケートに、ボランティアの中には対応に困ったと言う意見もありましたので、事前にアドバイスができるよう考えた方が良くかと思いました。シャトルバスは、次があればどのような形で運行したら良いか検討が必要と思いました。当日は天候が悪い時間もありましたが、緑地の中を散策して頂き有意義で良かったです。
- 七委員： ESD協議会の七です。里山を考える会に所属しておりますので、2つの立場からふりかえらせて頂きたいと思います。多くのボランティアの参加、車いすの準備、本当にありがとうございました。天気が悪くキャンセルされる方もありましたが、結果的に受付がスムーズになりました。一定数のご来園を頂くには、ボランティア、車いすの準備が必要だと思います。二つ目ですが、第5回もりフォーラムの立ち上げが遅れ、準備等皆様にしわ寄せがあり、ご心配とご無理を言ってしまい申し訳ありませんでした。来年開催する時には、早く始めたいと思います。シャトルバスは、ボランティアがご利用頂いたものと思います。
- 三井委員： 実行委員会に参加できず、ふりかえりだけでもと思い出席しました。私達は、認知症の早期発見、早期対応という事でネットワークを広げるのが役割の一つです。お医者さんがもりフォーラムに参加して相談会をするのはどうかとの意見が以前ありましたが、現実的に難しかったと思います。お医者さんにはもりフォーラムがあるという理解を頂いており、今後の運営に関心を持っていきたいです。
- 野村委員： 今年は雨模様で、参加が少なかったと思いますが、盛況に終わって良かったです。去年は子どもの参加が多かったが、今年は少なかったと思います。一方、学生のボランティアは多く、レクリエーションで学生も喜んでいと先生から話がありました。バルーンアートは今年3名に増えて良かったと思います。もりのセミナーの内容が事前に周知されていなかった点が気になりました。当日は入り難い雰囲気があったので、公開された形で開催され、事前告知があったら良かったと思います。それから、もりフォーラムの予算案や予算

野村委員： 報告を出して頂けたらと感じています。

田中秋子委員： 当日は受付をしました。グループホーム協議会でふりかえりを行ったので、ご報告をさせて頂きたいと思います。今回運営はスムーズで混乱なく、事故もなく良かったです。午後に帰られる人と、来る人が一緒になり、車の事で危ない場面がありました。車の流れを検討したいという意見がありました。受付票を作って、それを受付に提出し、受付ができるという事も考えていけたら、時間がかからず、事故もなく良いと思います。市長が見えられることを知らなかったという声があり、来賓者の情報を事前に知りたいという意見がありました。前の広場がもったいないという意見がありました。開催日程等もう少し早く連絡してほしかったという意見がありました。以上です。

千葉委員： 駐車場を担当しました。事故がなく無事にもりフォーラムを終えられたこと本当に良かったと思います。一部、危ないと感じられたことは、来年に活かしていきたいと思います。今回総合受付が駐車場にあり、受付全般をまとめて行えたので良かったです。今後、午後の対応について、到着する方、帰られる方の区分けが課題です。一つ困ったのは、入門時に一般参加と施設参加の方の区分けが難しかったことです。事前に分かっている施設の参加者の方に何らかの表示を示して頂けたら、混乱なく安全にできると思います。

井上委員： 今年は、合唱が良かったと思います。次回があれば、数回に分けると良いのではないかと思います。ピエロの方の評判も良かったので、何名か増やしても良いのではないかと思います。緊急時対応がなかったのは、何よりだと思いますが、今後、対応をしっかり検討する必要があるそうです。また提案ですが、ボランティアが沢山参加されているので、高田委員長名で感謝状を出される等、検討されてはどうでしょうか。野村委員から予算の話がありましたが、今まで助成をさせて頂いています。里山を考える会へお渡ししている経緯はありますが、次回以降予算決算の報告はあつてしかるべきだと思います。来年以降やるとすれば、我々が手を引くと言う訳では有りませんが、地元企業や行政の協力、地元の協賛などもお考え頂ければ、我々としても手を繋ぎやすいです。新年度に入るまでに、来年度の日程等を決めていった方が良いと思います。

高田委員長： 予算の話がありましたが、実行委員会で主体的な立場で予算を検討していくと良いと思いますが、検討が必要なので、そういう方向を

高田委員長： 目指していけたらと思います。若いボランティアの人たちが参加され、今後も認知症のサポートをしていきたいとアンケートに書いてあり、心強く感じました。最初は戸惑いながらも、最後は手をつなぐという場面が有り、若い人と高齢者が手をつなぐということが感動的でした。アンケートで、自分の役割がないという意見がありましたので、積極的な気持ちを考慮したいと思います。もりのセミナーは、うたごえフォーラムがあったので途中で抜けましたが、なかなか良い内容で展開されていたので、更に多くの方が参加できる工夫が必要かと思えます。今回も貴重なご発言を頂きありがとうございます。もりフォーラムが果たしている役割は、横のつながり、若い人、ボランティア、市民の交流という点で、北九州で開催していることに大きな意義があります。今後、益々、多くの方が参加していけるようにしたいと思います。

〈成果〉

- ・一時雨天にも関わらず、多くのご参加を頂いた。
- ・学生のボランティアが多く参加し、スムーズな運営に貢献して頂いた。
- ・合唱により会場の一体感が増し、来場者にも楽しんで頂けた。

〈今後の展望と課題〉

- ・各イベントについて、事前に告知し、当日参加できるような開かれた内容にしていく。
- ・個人のボランティア参加は、役割を明確にし、運営に有意義に参加できる体制を整える。
- ・ボランティアの運営は、会期前にレクチャーを実施する等の検討が必要。
- ・実行委員会の開催は、会期の前年度内に予定を計画する。
- ・予決算について、実行委員が主体的な立場を持てるよう検討したい。
- ・受付は、受付票を作成する等して、よりスムーズに対応できる体制をつくる。

